

年管発 1215 第 3 号
令和 5 年 12 月 15 日

日本年金機構理事長 殿

厚生労働省大臣官房年金管理審議官
(公 印 省 略)

厚生年金保険法施行規則の一部を改正する省令の公布について (通知)

厚生年金保険法施行規則の一部を改正する省令 (令和 5 年厚生労働省令第 155 号。以下「改正省令」という。)(別添)が本日付で公布及び施行される。

改正省令の内容は下記のとおりであるので、遺漏なきようお願いはからい願いたい。

記

1. 改正省令の趣旨

厚生年金保険法施行規則 (昭和 29 年厚生省令第 37 号) 第 15 条の規定に基づき、事業主は、厚生年金保険被保険者資格取得届により、被保険者の資格の取得に関する事項を日本年金機構に届け出ることとされている。この場合において、日本国籍を有しない者が厚生年金保険の被保険者資格を取得した際は、ローマ字氏名届 (様式第 7 号の 3) の添付を求めている。

今般、当該届について効率的なシステム処理を行うため、当該様式を改正する。

2. 改正省令の概要

厚生年金保険法に基づく手続きにおいては、順次、様式を統一することによりシステム処理の効率化を図っており、ローマ字氏名届 (様式第 7 号の 3) についても、同様に様式を改める。また、これまで、日本国籍を有しない船員被保険者に係るローマ字氏名の届出についても同様式を使用していたが、同じくシステム処理の効率化のため、船員被保険者に係る厚生年金保険被保険者ローマ字氏名届についても別途様式を定める。

その他所要の改正を行う。

3. 施行期日

令和 6 年 1 月 1 日

○厚生労働省令第五十五号
 厚生年金保険法（昭和二十九年法律第百十五号）第二十七条の規定に基づき、厚生年金保険法施行規則の一部を改正する省令
 令和五年十二月十五日
 厚生年金保険法施行規則の一部を改正する省令
 厚生年金保険法施行規則（昭和二十九年厚生省令第三十七号）の一部を次のように改正する。
 次の表のように改正する。

厚生労働大臣 武見 敬三

（傍線部分は改正部分）

改正後	改正前
<p>（被保険者の資格取得の届出）</p> <p>第十五条（略）</p> <p>2・3（略）</p> <p>4 日本国籍を有しない当然被保険者（厚生労働大臣が住民基本台帳法第三十条の九の規定により機構保存本人確認情報の提供を受けることができる者を除く。）に係る第一項の届書（様式第七号によるものに限る。）又は光ディスクには、<u>厚生年金保険被保険者ローマ字氏名届（様式第七号の三）</u>を添えなければならない。</p> <p>5 日本国籍を有しない船員被保険者（厚生労働大臣が住民基本台帳法第三十条の九の規定により機構保存本人確認情報の提供を受けることができる者を除く。）に係る第三項の届書には、<u>厚生年金保険被保険者（船員）ローマ字氏名届（様式第七号の三の二）</u>を添えなければならない。</p> <p>6・7（略）</p> <p>（被保険者の氏名変更の届出等）</p> <p>第二十一条（略）</p> <p>2・4（略）</p> <p>5 日本国籍を有しない被保険者に係る第一項の届書には、<u>厚生年金保険被保険者ローマ字氏名届（様式第七号の三）</u>を添えなければならない。</p> <p>6 日本国籍を有しない船員被保険者に係る第三項の届書には、<u>厚生年金保険被保険者（船員）ローマ字氏名届（様式第七号の三の二）</u>を添えなければならない。</p>	<p>（被保険者の資格取得の届出）</p> <p>第十五条（略）</p> <p>2・3（略）</p> <p>4 日本国籍を有しない当然被保険者（厚生労働大臣が住民基本台帳法第三十条の九の規定により機構保存本人確認情報の提供を受けることができる者を除く。）に係る第一項及び前項の届書（様式第七号によるものに限る。）又は光ディスクには、<u>ローマ字氏名届（様式第七号の三）</u>を添えなければならない。</p> <p>（新設）</p> <p>5・6（略）</p> <p>（被保険者の氏名変更の届出等）</p> <p>第二十一条（略）</p> <p>2・4（略）</p> <p>5 日本国籍を有しない被保険者に係る第一項又は第三項の届書には、<u>ローマ字氏名届（様式第七号の三）</u>を添えなければならない。</p> <p>（新設）</p>

様式第七号の三 (第十五条及び第二十一条関係)

様式第七号の三を次のように改める。

様式コード			
2	2	0	73

厚生年金保険被保険者 ローマ字氏名届

令和 年 月 日提出

提出者記入欄	事業所整理記号		事業所番号	
	事業所所在地	〒 -		
	事業所名称			
	事業主氏名			
	電話番号	()		

社会保険労務士記載欄
氏名等

A 基本情報	① 基礎年金番号					
	② 性別	1. 男 2. 女	③ 生年月日(西暦)	年 月 日	④ 住民登録の有無	1. 無有 2. 有
	⑤ ローマ字氏名	(フリガナ) (ローマ字)			関連届書使用氏名	<input type="checkbox"/>

※「漢字氏名」「通称名」をお持ちの方は、下記の欄にご記入ください(記入は任意です)。

B 漢字氏名 通称名	⑥ 漢字氏名	(フリガナ) (氏)	(名)	関連届書使用氏名	<input type="checkbox"/>
	⑦ 通称名	(フリガナ) (氏)	(名)	関連届書使用氏名	<input type="checkbox"/>

※「ローマ字氏名」をお持ちでない場合は、その理由をチェック☑してください。

C 理由記入欄	<input type="checkbox"/> 短期在留者であるため
	<input type="checkbox"/> 海外に住所を有している者であるため
	<input type="checkbox"/> 在留カード(または特別永住者証明書)にローマ字氏名が記載されていないため
	<input type="checkbox"/> その他 理由 ()

【記入上の注意】

- 「④住民登録の有無」欄は、該当する番号を○で囲んでください。
- フリガナは、被保険者資格取得届に記入したものと同一フリガナを記入してください。
- ローマ字氏名は、在留カードもしくは特別永住者証明書または住民票に記載されているローマ字氏名を大文字で記入してください。なお、ローマ字氏名をお持ちでない方については「⑤ローマ字氏名欄」に被保険者資格取得届等に記載したカナ氏名を記入のうえ、「C理由記入欄」にその理由を記入してください。
- 関連届書使用氏名のチェック欄は、被保険者資格取得届等に使用している氏名にチェック☑してください。

様式第七号の三の次に次の様式を加える。

様式第七号の三の二（第十五条及び第二十一条関係）

様式コード				
3	2	0	7	3

厚生年金保険被保険者(船員) ローマ字氏名届

令和 年 月 日提出

提出者記入欄	船舶所有者整理記号		告知番号	
	船舶所有者住所	〒 -		
	船舶所有者氏名			
	電話番号	()		

社会保険労務士記載欄
氏名等

A 基本情報	① 基礎年金番号					
	② 性別	1. 男 2. 女	③ 生年月日(西暦)	年 月 日	④ 住民登録の有無	1. 無 2. 有
	⑤ ローマ字氏名	(フリガナ) (ローマ字)			関連届書使用氏名	<input type="checkbox"/>

※「漢字氏名」「通称名」をお持ちの方は、下記の欄にご記入ください(記入は任意です)。

B 漢字氏名 通称氏名	⑥ 漢字氏名	(フリガナ) (氏)	(名)	関連届書使用氏名	<input type="checkbox"/>
	⑦ 通称名	(フリガナ) (氏)	(名)	関連届書使用氏名	<input type="checkbox"/>

※「ローマ字氏名」をお持ちでない場合は、その理由をチェック☑してください。

C 理由記入欄	<input type="checkbox"/> 短期在留者であるため
	<input type="checkbox"/> 海外に住所を有している者であるため
	<input type="checkbox"/> 在留カード(または特別永住者証明書)にローマ字氏名が記載されていないため
	<input type="checkbox"/> その他 理由()

【記入上の注意】

- 「④住民登録の有無」欄は、該当する番号を○で囲んでください。
- フリガナは、被保険者資格取得届に記入したものと同一フリガナを記入してください。
- ローマ字氏名は、在留カードもしくは特別永住者証明書または住民票に記載されているローマ字氏名を大文字で記入してください。なお、ローマ字氏名をお持ちでない方については「⑤ローマ字氏名欄」に被保険者資格取得届等に記載したカナ氏名を記入のうえ、「C理由記入欄」にその理由を記入してください。
- 関連届書使用氏名のチェック欄は、被保険者資格取得届等に使用している氏名にチェック☑してください。

附則

第一条 (施行期日)

この省令は、令和六年一月一日から施行する。

(経過措置)

2 第二条 この省令の施行の際現にあるこの省令による改正前の様式(次項において「旧様式」という。)により使用されている書類は、この省令による改正後の様式によるものとみなす。
この省令の施行の際現にある旧様式による用紙については、当分の間、これを取り繕って使用することができる。